

6 NPO法人里山ネットワーク世屋（自然環境と文化・伝統の継承）

（宮津市）

世屋地域の活性化を図るため、地域の住民、出身者、企業、研究者等が平成15年に設立。自然環境や文化、伝統を後世に引き継ぐことを目的として、「地域資源の発掘と伝承」、「里地里山の保全と再生」、「地域を担う人材の育成と支援」の3つの柱で活動している。棚田が広がる上世屋の集落に、古民家を改修した、上世屋事務所「ぶー丹」がある。今年、地域紹介や物品販売など地域拠点としての充実を目指し、里山案内人の養成、「棚田で米づくり」、農薬不使用米の販売なども行う。



7 NPO法人 プロジェクト保津川（保津川的环境保全団体）

（亀岡市）

流域の住民、企業、各種団体、行政とのパートナーシップのもと、保津川的环境保全、循環型地域社会、まちづくりに貢献することを目指して、2007年7月に設立。毎月第2日曜日のクリーン作戦、携帯電話のGPS機能を活用した保津川ゴミマップの作成、シンポジウム、環境教室、保津川体感などの事業を開催。多くの人たちが環境について考えるきっかけとなり、一人一人が川を汚さないようにしてほしい。また、亀岡市文化資料館や京都府などとともに、9月には60年前に廃れてしまった保津川の筏流しを復活させた。

8 サンタクロースになろう会（手作りのサンタマラソン）

（京都市）

毎年、12月23日に、サンタクロースの衣装だけでなく、気持もなりきって、鴨川河川敷を自分たちのペースで、楽しく走る大会を主催して、7年目。「手作り感」を大切にして、自然な形で、末永く続いていき、ほかの場所でも、サンタマラソンのような、皆が笑顔になれるような大会ができることを願い、応援できる仲間の集まりでありたいと思っている。そして自分たちの大会を通じて、多くの方とつながり、一緒に毎年とびっきりのクリスマスイブイブを祝いたいと思っている。



9 野殿童仙房生涯学習推進委員会

（南山城村）

小学校が統合によって廃校となることが決まり、地域としての危機感を持った住民が、京都大学大学院教育学研究科に相談されたことから、地域が主体となったプロジェクトがスタートして、平成18年に設立。畑を作った農業体験、地元の住民や、学生、研究者が語り合うセミナー、小学校前広場での「風と雲の広場」の開催、広報誌の年4回発行等、大学と地域による新しい学びの場づくりは、3年目。委員会以外にも、様々な関わり、交流が生まれており、活動の和が広がっている。



10 同志社大学学生支援プロジェクト「でまち家」

（京都市）

同志社大学の「地域コミュニティによる学生支援方策」の活動拠点として、今年の4月に開室された「でまち家」。「でまち家」において学生は、子ども、大人、高齢者という異世代との関わりの中で活動を行うことにより、社会性や人間力を高めていくことが期待されている。毎日開催される「町家サークル」、毎月1回の季節のイベント、月1回の学生と大人が膝をつき合わせて議論する「井戸端会議」等を開催。学生が、自分達で考え、試行錯誤し、活動を進めている。学生は活動を通して振り返り反省することも多いが、一步一步着実に一人一人のペースで成長している。

